

分 析 結 果 報 告 書

機 関 名

分 析 項 目

分 析 方 法 / 機 器 / スペクトル干渉の補正又は低減方法

前 処 理 日

分 析 日

【分析結果】

標 準 液			標準物質の カウント数	内標準物質の カウント数
標準液 1				
標準液 2				
標準液 3				
標準液 4				
標準液 5				
標準液 6				
標準液 7				
標準液 8				
標準液 9				

内標準物質及び濃度

上記の面積値等と濃度の  
相関から得られた数式 X: Y:

相関係数(R) (相関式は一次式以外でも可)

決定係数(R<sup>2</sup>)

試 料	前処理試料 分取量(mL)	前処理定容量 (mL)	分析時の 希釈倍率	換算係数	定量結果の算出方法 (最終定量結果までの計算式と計算結果を記入) mg/L
試料ブランク					
試料 1 回目					
試料 2 回目					
試料 3 回目					

【報告値】 (有効数字2桁表示) 平均値の3桁目を四捨五入

mg/L

<input type="checkbox"/> 入力ミスがないことを 確認しました (チェックを入れる)	担当者	確認者

(印鑑またはサイン)

分 析 結 果 報 告 書

機 関 名

分 析 項 目
分 析 方 法 / 機 器
前 処 理 日
分 析 日

【分析結果】

標 準 液	硝 酸 性 窒 素 又 は 硝 酸 イ オン		亜 硝 酸 性 窒 素 又 は 亜 硝 酸 イ オン	
標 準 液 1				
標 準 液 2				
標 準 液 3				
標 準 液 4				
標 準 液 5				
標 準 液 6				
標 準 液 7				
標 準 液 8				
標 準 液 9				
上記の面積値と重量等の相関から得られた数式			X:	Y:
相 関 係 数 ( R )	(相関式は一次式以外でも可)			
決 定 係 数 ( R <sup>2</sup> )				

試 料	硝 酸		酸 性 窒 素	
	分析時の希釈倍率	換算係数	定量結果の算出方法 (最終定量結果までの計算式と計算結果を記入) mg/L	
試 料 ブ ラ ン ク				
試 料 1 回 目				
試 料 2 回 目				
試 料 3 回 目				

試 料	亜 硝 酸		性 窒 素	
	分析時の希釈倍率	換算係数	定量結果の算出方法 (最終定量結果までの計算式と計算結果を記入) mg/L	
試 料 ブ ラ ン ク				
試 料 1 回 目				
試 料 2 回 目				
試 料 3 回 目				

【報告値】

(有効数字2桁表示)

並行測定 of 硝 酸 性 窒 素 の 平 均 値 と 亜 硝 酸 性 窒 素 の 平 均 値 の 合 計 値 の 3 桁 目 を 四 捨 五 入

硝 酸 性 窒 素 及 び 亜 硝 酸 性 窒 素	mg/L
---------------------------	------

<input type="checkbox"/> 入力ミスがないことを確認しました (チェックを入れる)	担当者	確認者

(印鑑またはサイン)

分 析 結 果 報 告 書

機 関 名	
分 析 項 目	
分 析 方 法	
分 析 日	

【 測 定 条 件 】

5mmol/L の 過 マンガン酸カリウムのファクター	
-----------------------------	--

試 料	試料分取量(mL)	銀の種類	銀の添加量 硝酸銀溶液の場合はmL, 硝酸銀(粉末)又は硫酸銀 (粉末)の場合はg	5mmol/Lの過マンガン酸 カリウムの滴定量(mL)	定量結果の算出方法 (最終定量結果までの計算式と計 算結果を記入) mg/L
試 料 ブ ラ ン ク		硝酸銀溶液(200g/L)			
		硝酸銀溶液(500g/L)			
		硝酸銀(粉末)			
		硫酸銀(粉末)			
試 料 1 回 目		硝酸銀溶液(200g/L)			
		硝酸銀溶液(500g/L)			
		硝酸銀(粉末)			
		硫酸銀(粉末)			
試 料 2 回 目		硝酸銀溶液(200g/L)			
		硝酸銀溶液(500g/L)			
		硝酸銀(粉末)			
		硫酸銀(粉末)			
試 料 3 回 目		硝酸銀溶液(200g/L)			
		硝酸銀溶液(500g/L)			
		硝酸銀(粉末)			
		硫酸銀(粉末)			

【報告値】 (有効数字2桁表示) 平均値の3桁目を四捨五入	
	mg/L

<input type="checkbox"/> 入カミスがないことを 確認しました (チェックを入れる)	担当者	確認者

(印鑑またはサイン)

(記入例)

(様式 1)

分 析 結 果 報 告 書

機 関 名 ○○○株式会社大阪試験センター

分 析 項 目 ひ素

分 析 方 法 / 機 器 JIS K 0102 61.4 / ○○社製 ICP質量分析装置 スペクトル干渉の補正又は低減方法 コリジョン・リアクションセル

前 処 理 日 R4.10.13

分 析 日 R4.10.14

ひ素の分析を、JIS K 0102. 61.4を用いて分析した場合のみ、スペクトル干渉を補正する手法又は低減する手法を記入する。

濃度(単位)又は重量(単位)を記入する。

吸光度、ピーク%、面積、発光強度、強度比、イオンカウント数の比等該当するものを記入する。(オートアナライザーを用いた場合は、ピーク%を記入する。)

【分析結果】

標準液	濃度(μg/L)	イオンカウント数の比	標準物質のカウント数	内標準物質のカウント数	内標準物質及び濃度
標準液 1	0	0.0584	351	602000	In 20.0 μg/L
標準液 2	1	1.92	11654	607000	
標準液 3	5	10.3	61491	597000	
標準液 4	10	22.6	137420	606030	
標準液 5	15	29.5	191455		
標準液 6					
標準液 7					
標準液 8					
標準液 9					
上記の面積値等と濃度の 相関から得られた数式	Y=2.0325X+0.2736		X: 濃度(μg/L)	Y: イオンカウント数の比	
相関係数(R)	0.9955		(相関式は一次式以外でも可)		
決定係数(R <sup>2</sup> )	0.9910				

内標準法を採用するときは内標準物質名、濃度を記入する。

検量線の作成に用いた標準液を全て記入する。

X、Yの内容を明確に記載する。

計算過程が記入しきれない場合は別紙に記入して提出しても良い。

換算係数があれば記入する。

個々のデータを算出する時にブランク値を差し引

試料	イオンカウント数の比	前処理試料分取量(mL)	前処理定容量(mL)	分析時の希釈倍率	換算係数	定量結果の算出方法 (最終定量結果までの計算式と計算結果) mg/L
試料ブランク	0.502413	50	100	2	-	$(0.5024126 - 0.2736) \times (1/2.0325) \times (1/1000) \times (100/50) \times 2 = 0.000450$
試料 1 回目	7.871362	50	100	2	-	$(7.871362 - 0.2736) \times (1/2.0325) \times (1/1000) \times (100/50) \times 2 - 0.000450 = 0.01450$
試料 2 回目	7.760824	50	100	2	-	$(7.760824 - 0.2736) \times (1/2.0325) \times (1/1000) \times (100/50) \times 2 - 0.000450 = 0.01474$
試料 3 回目	7.980591	50	100	2	-	$(7.980591 - 0.2736) \times (1/2.0325) \times (1/1000) \times (100/50) \times 2 - 0.000450 = 0.01517$

【報告値】 (有効数字2桁表示) 平均値の3桁目を四捨五入

0.015 mg/L

<input checked="" type="checkbox"/> 入力ミスがないことを確認しました (チェックを入れる)	担当者	確認者
	○ ○	× ×

(印鑑またはサイン)

(記入例)

(様式 2)

分 析 結 果 報 告 書

機 関 名 ○○○株式会社大阪試験センター

分析項目	硝酸性窒素及び亜硝酸性窒素
分析方法/機器	JIS K 0102 43.1.2及び43.2.5 / ○○社製 イオンクロマトグラフ
前処理日	R4.10.13
分析日	R4.1014

濃度(単位)又は重量(単位)を記入する。

ピーク面積又は高さを記入する。

【分析結果】

標 準 液	硝酸性窒素又は硝酸イオン		亜硝酸性窒素又は亜硝酸イオン	
	濃度(mg/L)	面積値	濃度(mg/L)	面積値
標準液 1	0	0	0	0
標準液 2	2	345100	2	361100
標準液 3	4	712100	4	690000
標準液 4	10	1684000	10	1825000
標準液 5	20	3542000	20	3652000
標準液 6				
標準液 7				
標準液 8				
標準液 9				
上記の面積値と重量等の相関から得られた数式	Y=175420X+0		Y=182254X+0	
相関係数(R)	0.9996		0.9999	
決定係数(R <sup>2</sup> )	0.9992		0.9998	

検量線の作成に用いた標準液を全て記入する。

X、Yの内容を明確に記載する。

X: 濃度(mg/L) Y: 面積  
(相関式は一次式以外でも可)

試 料	硝 酸 性 窒 素			
	面積値	分析時の希釈倍率	換算係数	定量結果の算出方法 (最終定量結果までの計算式と計算結果を記入) mg/L
試料ブランク	0	1	0.2259	0.0/175420 × 1 × 0.2259 = 0.000000
試料 1 回目	400000	1	0.2259	400000/175420 × 1 × 0.2259 - 0.000000 = 0.515106
試料 2 回目	395000	1	0.2259	395000/175420 × 1 × 0.2259 - 0.000000 = 0.508667
試料 3 回目	390000	1	0.2259	390000/175420 × 1 × 0.2259 - 0.000000 = 0.502228

試 料	亜 硝 酸 性 窒 素			
	面積値	分析時の希釈倍率	換算係数	定量結果の算出方法 (最終定量結果までの計算式と計算結果を記入) mg/L
試料ブランク	0	1	0.3045	0.0/182254 × 1 × 0.3045 = 0.000000
試料 1 回目	400000	1	0.3045	400000/182254 × 1 × 0.3045 - 0.000000 = 0.668298
試料 2 回目	385000	1	0.3045	385000/182254 × 1 × 0.3045 - 0.000000 = 0.643237
試料 3 回目	395000	1	0.3045	395000/182254 × 1 × 0.3045 - 0.000000 = 0.659944

個々のデータを算出する時にブランク値を差し引く。

【報告値】

(有効数字2桁表示)

並行測定 of 硝酸性窒素の平均値と亜硝酸性窒素の平均値の合計値の3桁目を四捨五入

硝酸性窒素及び亜硝酸性窒素	1.2	mg/L
---------------	-----	------

<input checked="" type="checkbox"/> 入力ミスがないことを確認しました (チェックを入れる)	担当者	確認者
	○	×

(印鑑またはサイン)

(記入例)

(様式 3)

分 析 結 果 報 告 書

機 関 名	〇〇〇〇株式会社大阪試験センター
-------	------------------

分 析 項 目	化学的酸素要求量 (COD)
分 析 方 法	JIS K 0102 17 100°Cにおける過マンガン酸カリウムによる酸素消費量 (COD(Mn))
分 析 日	R4.10.13

【測定条件】

5mmol/L の 過 マ ン ガ ン 酸 カ リ ウ ム の フ ァ ク タ ー	1.001
---	-------

添加した銀化合物の種類ごとに添加量を記入。  
溶液と粉末では単位が違うので注意。

試 料	試料分取量 (mL)	銀の種類	銀の添加量 硝酸銀溶液の場合はmL, 硝酸銀(粉末)又は硫酸銀 (粉末)の場合はg	5mmol/Lの過マンガン酸 カリウムの滴定量(mL)	定量結果の算出方法 (最終定量結果までの計算式と計算結果を記入) mg/L
試 料 ブ ラ ン ク	100	硝酸銀溶液 (200g/L)	5	0.154	最終定量結果までの計算式と定量結果を記入。
		硝酸銀溶液 (500g/L)			
		硝酸銀 (粉末)			
		硫酸銀 (粉末)			
試 料 1 回 目	50	硝酸銀溶液 (200g/L)	5	4.894	$(4.894 - 0.154) \times 1.001 \times 1000 / 50 \times 0.2 = 18.979$
		硝酸銀溶液 (500g/L)			
		硝酸銀 (粉末)			
		硫酸銀 (粉末)			
試 料 2 回 目	50	硝酸銀溶液 (200g/L)	5	5.012	$(5.012 - 0.154) \times 1.001 \times 1000 / 50 \times 0.2 = 19.451$
		硝酸銀溶液 (500g/L)			
		硝酸銀 (粉末)			
		硫酸銀 (粉末)			
試 料 3 回 目	50	硝酸銀溶液 (200g/L)	5	5.100	$(5.100 - 0.154) \times 1.001 \times 1000 / 50 \times 0.2 = 19.804$
		硝酸銀溶液 (500g/L)			
		硝酸銀 (粉末)			
		硫酸銀 (粉末)			

最終定量結果までの計算式と定量結果を記入。

【報告値】 (有効数字2桁表示) 平均値の3桁目を四捨五入

19	mg/L
----	------

<input checked="" type="checkbox"/> 入力ミスがないことを 確認しました (チェックを入れる)	担当者	確認者
	○ ○	× ×

(印鑑またはサイン)